



新年あけましておめでとうございます

日頃のご愛顧を厚く御礼申しあげますとともに、今年一年が最良の年でありますよう、心よりお祈りいたします。

厄落とし

新年に厄を迎えた方もいらっしゃるでしょう。厄年は日本に古くから伝わる人生儀礼であり、生活文化。各地に様々な厄落し・厄払いの風習があります。

富山県
鯉にお酒を飲ませて放流
砺波市庄川町では厄除け祈願をした厄男・厄女が鯉の口にお神酒を注ぎ、その鯉を川に放流する

秋田県
正月を2度行う
厄年の人がいる家では、2月1日から立春頃に門松を立てたり、雑煮を食べるなど、正月の祝いをする。これによって、もう一つ歳を重ね、厄が過ぎた事にする。

岩手県
裸で走る厄男に水をかける
一関市大東町では、2月11日に大原水かけ祭りが行なわれる。この祭りでは、裸で街を走り抜ける厄男たちに町の人たちが水をかける。

山梨県
歳の数だけ団子などを供える
塩澤寺(甲府市)では2月13・14日に厄除け地蔵厄年の人がいる家では、2月1日尊祭りが行なわれる。この日、歳の数だけ団子や1円玉、節分の豆、アメ玉など球状のものを本尊の石造地蔵菩薩坐像に供える。

静岡県
節分の日には餅を近所に配る
節分の日には近所の家や豆を拾いに来た子供達へ餅を配り、厄をもって行ってもらう。静岡県西部の風習。

三重県
年齢+1の硬化を厄銭箱に
志摩市大王町では、3月初午の日に波切神社で厄除けの祈願を受けた後、賽銭箱ならぬ厄銭箱に自分の歳に1を加えた額の硬化を入れる。又、自宅の2階から餅や菓子などをまく。

徳島県
石段に厄銭をおく
四国霊場第23番札所・薬王寺に女厄坂・男厄坂という石段がある。厄年33歳女性は厄女坂、42歳男性は男厄坂を上がり1段ごとに硬化(厄銭)を置いていく。

島根県
鬼の面を付けて町中を駆け回る
大社町で正月3日に開催の行事「吉兆さん・番内さん」。この日、金襴の旗・吉兆の悪魔払いをした厄男は鬼の面を付けて街中を駆け回り、家々の前を青竹で地面を叩いて自分とその家の厄を落とす。

福岡県
ひょうたんを神棚にまつる
太宰府天満宮で厄除け祈願を受け、お守り・お神酒・ひょうたん(厄晴れひょうたん)をもらう。ひょうたんの中に願い事を書いた紙を入れ、神棚にまつる。

厄年にもっと健康になる! という思いが



厄年の中でも男性42歳、女性33歳の大厄には災難に遭う恐れがあると考えられ、その年の前後の前厄、後厄と合わせて3年間はずっと身を慎むべきといわれています。この言い伝えを信じる信じない以前に、男性はこの頃から職場での責任が増し、メタリックシンドローム・予備軍の人も多くなります。又、女性は出産・子育てで心身の不調をきたす事があり、この時期から子宮・乳がんの罹患率も増加します。厄を迎えるのをきっかけに、今一度ご自分のライフスタイルを振り返り、改善すべき点は改善すると同時に定期的に健診を受け、心身ともに充実した日々をお過ごしください。

新築・増改築はもちろん、キッチンやトイレの改修などちょっとした事でもお気軽にご相談下さい!!

定休日のご案内

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

※丸の付いている日が定休日です。